

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 2 月 25日

事業所名 あさがおねっと 滝井

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		十分なスペースである。	安全面を考慮し整理整頓している。
	2	職員の配置数は適切である	○		法令での配置数を満たしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		活動スペースと階段に手すりの設置、階段前には施錠している。	情報伝達に絵カードやひらがな表記を活用しているが、様々な状況を想定した絵カードの種類増加を今後行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃・点検にて心地よく活動できる空間を作っている。	転倒・接触の危険性のある備品等は安全クッションをつけたり鍵付きの倉庫に保管する。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々の支援の振り返りと月1回の職員会議にて情報共有・再確認をしている。	今後も継続して会議・振り返りを行う。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者懇談会を実施。アンケートにて意向と改善点を把握して改善につなげている。	年2階の保護者会を継続して行い、保護者の意向等を把握、業務改善につなげる。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページとブログにて公開している。	評価表をもとに支援の質の改善を行う。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	検討中である。	業務改善につなげていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		地域の研修や内部研修を定期的に行っている。	地域の研修情報収集と定期的な内部研修を継続して行う。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを取り児童発達支援計画を作成している。	保護者面談・アセスメントの更新を定期的に行う。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを使用している。	利用者の状況に合わせてアセスメントの項目見直しを検討していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援ガイドラインをもとに具体的な支援内容を設定している。	家族支援・地域支援の項目を適切に選択し具体的な支援内容を設定する。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画に沿った支援を行っている。	日々の振り返りや職員会議にて支援計画の内容を職員と情報共有・検討する。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当を決め意見を出し合っでプログラムを決めている。	定期的に職員会議を開催し、活動プログラムを立案する。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		特性を配慮し楽しく参加できる内容を考え、達成感を感じてもらえるように工夫している。	職員会議にてプログラムの内容が固定化しないように工夫して検討する。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別活動と集団活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成している。	子どもの状況に合わせて支援計画を作成。目標の達成を見極めて更新していく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日のミーティングで確認している。	毎日の打ち合わせを継続的に行う。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の振り返りで上場共有している。	支援終了後と翌日の打ち合わせ時に振り返りを行う。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個々のケース記録を作成している。	ケース記録をもとに支援の検証・改善につなげる。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に会議を開き全員で現状を把握、必要な見直しを行っている。	継続して支援計画の見直しを全員で行う。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画している。	継続して子どもの状況を把握し担当者会議に参画する。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		子育て支援センターと連携し支援を行っている。	幅広い関係機関との連携して支援を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	該当者なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	該当者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		こども園・幼稚園・支援学校幼児部と情報共有を行っている。	こども園・幼稚園・支援学校幼児部との相互理解を継続して図っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		行っていない。	今後積極的に情報共有を図る。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		児童発達支援センターと連携し、利用者の普段の様子など助言を受けている。	専門機関と連携し、助言や研修を受けていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		今後積極的に行う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		今後積極的に参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノートの活用・送迎時や電話でその日の様子等をお伝えしている。	面談や懇談会にて子どもの状況を伝えあい、共通理解を持つ。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者面談や懇親会・電話相談などで聞き取り・助言を行っている。	継続して家族支援を行う。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず説明している。	今後も契約時に説明するとともに、変更がある際にも説明を行う。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援ガイドラインにもとづいて児童発達支援計画書を作成、保護者に説明し書面で同意を得ている。	継続して行う。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者面談や懇談会・電話相談などで聞き取り、必要な助言と支援を行っている。	定期的に保護者面談・懇談会を行う。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者懇談会を実施。アンケートにて意向と改善点を把握して改善につなげている、保護者同士の交流と情報共有が出来る様に支援している。	年に2回保護者懇談会を開催する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		速やかな対応を心掛けている。	相談窓口や対応の体制を整備し、子どもや保護者への周知を行う。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月予定表と会報を配布している。	活動内容が分かりやすい会報を作成し配布する。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		重要事項説明書に基づき十分注意している。	個人情報の取り扱いについて職員に周知し取り扱いに十分注意する。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		伝達方法がわかりやすく伝わるように、個々に合わせた伝達をしている。	情報伝達に絵カードやひらがな表記を活用しているが、様々な状況を想定した絵カードの種類増加を今後行っていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		昨秋に内覧会を開催した。	今後も定期的に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図る。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		職員へのマニュアル周知、事業所入口へのマニュアル掲示をするとともに、発生を想定した訓練を実施している。	保護者への周知が不十分であるため、会報等でマニュアル周知を行う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に防災に関する訓練や勉強会を実施している。	定期的な防災訓練を行う。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に服薬・てんかん発作等の状況を確認している。	定期的にあセスメントの更新、状況確認を行う。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーの有無を確認。その都度適切に対応している。	定期的に状況確認を行う。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書を作成し、必ず全職員間で周知を行い保管している。	作成・周知の徹底を行う。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員研修を実施。事業所内でのマニュアル掲示。	定期的に研修を実施する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			該当者なし。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。